

いのちを支える地域づくり計画 2025

～板橋区自殺予防対策～（仮称）

概要版



板橋区

計画策定の目的

自殺対策については、心身の健康問題、経済・生活問題、いじめ、DV や過労、育児、介護疲れなど、生きることへの様々な阻害要因に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、孤独・孤立問題や生活困窮など課題が複雑化、複合化しています。

こうした課題の解決に向けては、「生きることの阻害要因(自殺のリスク要因)」を減らし、「生きることの促進要因(自殺に対する保護要因)」を増やすことが重要です。

本計画は、自殺対策の本質が生きることへの支援にあることを改めて確認し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する習慣「新しい日常」への対応など新たな課題も見据え、生きることの包括的な支援を通じ、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざします。

計画期間

令和5(2023)年～令和7(2025)年度

目標

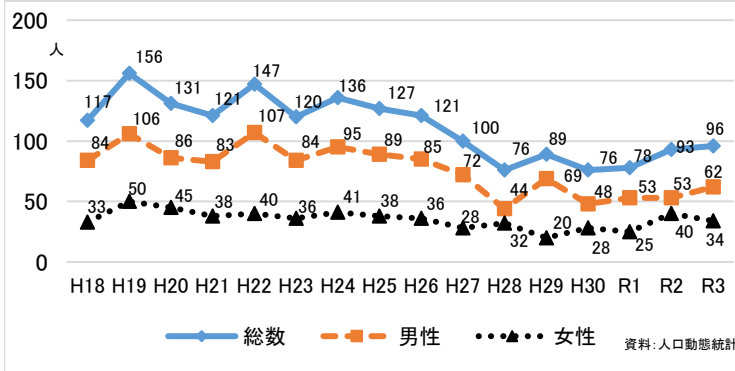
自殺死亡率：13.0以下

自殺者数：70以下

※令和8(2026)年まで

自殺者数の現状

板橋区の男女別の自殺者数の年次推移



板橋区の自殺者数は、平成19(2007)年の156人をピークに、平成28(2016)年には76人まで減少しましたが、令和元(2019)年から3年連続で増加しています。

自殺の動機につながる危険因子



厚生労働省「都道府県自殺対策計画策定の手引き」(平成29年11月)、第4次「自殺対策大綱」(令和4年10月)より危険因子になり得るものを抜粋